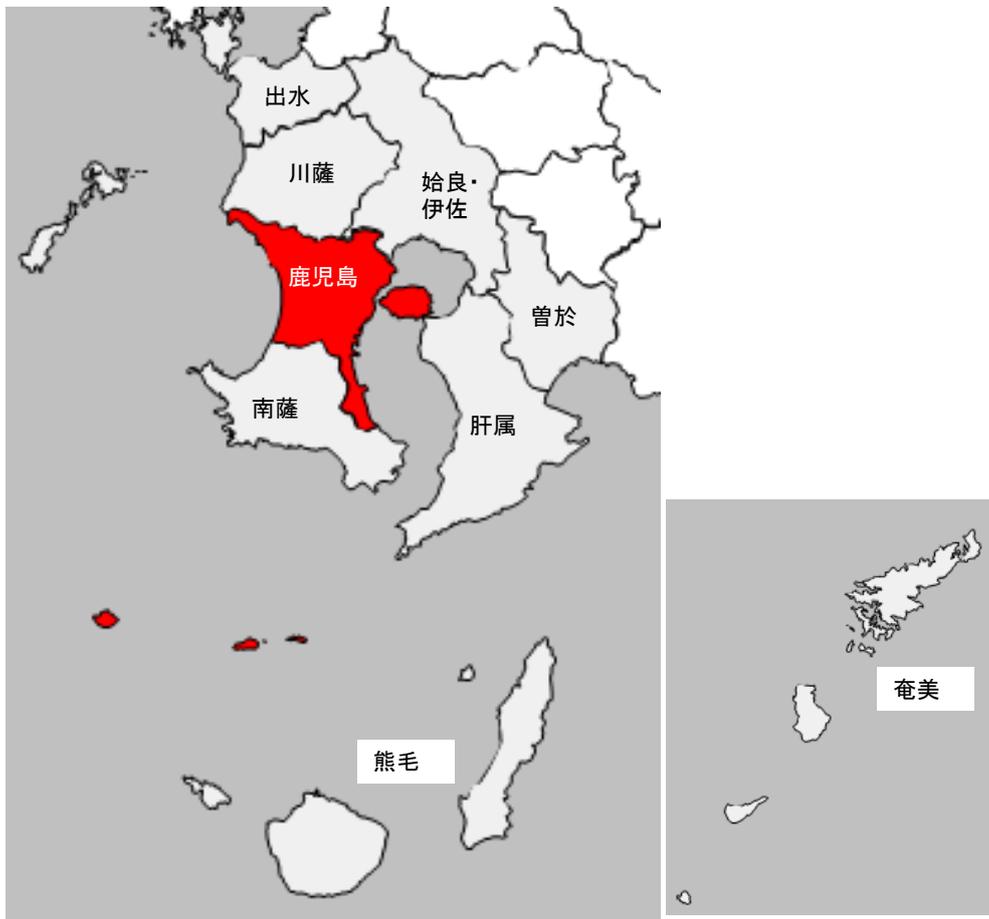


# 46. 鹿 児 島 県



## 4 6 鹿児島県

### A. 医療提供体制の現状

鹿児島県の特徴は、(1) 多い病床数、特に多い療養病床、精神病床、(2) 鹿児島への集中と周辺地域の鹿児島依存、奄美の健闘である。

#### (1) 多い病床数、特に多い療養病床、精神病床

全県を通しての人口当たりの病床数の偏差値が 67、一般病床が 58、療養病床 65、精神病床 65、総医師数が 52 (病院勤務医数 53、診療所医師 49)、総看護師数が 69、全身麻酔数 52 と、病床数と看護師数は非常に多く、医師数と全身麻酔件数は全国平均をやや上回り、医療資源レベルは高い。一般病床と比べ病床数は多く、離島を除けば、全県的に、療養病床、回復期、精神病床が多い。

#### (2) 鹿児島への集中と周辺地域の鹿児島依存、奄美の健闘

医学部のある鹿児島に鹿児島県の 40%の人口が集中するが、医師数の 54%、総看護師数の 46%、全身麻酔数の 68%が集中しており、鹿児島への手中傾向が強い。鹿児島以外の医療圏では、曾於を除くと、看護師数の偏差値が 53 以上 (多くは 60 以上)、病床数は 52 以上 (多くは 60 以上) だが、病院勤務医数の偏差値は 48 以下、全身麻酔数は 45 以下であり、全県的に過疎型の医療提供体制である。

離島の奄美の偏差値が、一般病床数 60、総医師数 46、総看護師数 66、全身麻酔 44 であり、沖縄の宮古と並ぶ、日本の離島の医療圏の中で、最も充実した医療が提供されている。

### B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

#### (鹿児島)

鹿児島は、人口約 69 万人、面積 1,045/km<sup>2</sup>、人口密度は約 660 人/km<sup>2</sup>の、地方都市型二次医療圏である。鹿児島には、鹿児島大学 (725 床、全麻 3,000 件以上)、全身麻酔件数年間 2,000 件を超える鹿児島市立病院 (救命救急)、全身麻酔件数年間 1,000 件以上の今給黎総合病院、鹿児島医療センター、南風病院、鹿児島市医師会病院、年間 500 件以上の整形外科米盛病院、今村病院、相良病院、鹿児島生協病院、鹿児島赤十字病院などがあがり、鹿児島県全域から患者が集まってくる。

人口当たりの総病床数の偏差値は 68 (一般病床 63、療養病床 64、精神病床 63)、総医師数が 62 (病院勤務医数 66、診療所医師 53)、総看護師数 76、全身麻酔数 67 と高い医療資源レベルであり、現在でも過剰感が強い。総高齢者ベッド数の偏差値は 57 と充実している。

2010→40年の鹿児島県全体の総医療需要が5%減、0-64歳の医療需要が35%減、鹿児島県の総医療需要が12%増、0-64歳の医療需要が31%減を考えると、急性期医療の提供能力の過剰感が今後更に強まっていくことが予想される。鹿児島で働く医師が医師不足地域での勤務を促す誘導策、高機能病床のダウンサイジングを検討する必要があるだろう。同時に、75歳以上医療需要の61%増加が予想されるため、高齢者施設や住居の増強や急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換する必要があるだろう。

### (南薩)

薩摩半島を南部に広がる南薩(枕崎)は、人口約15万人、面積865/km<sup>2</sup>、人口密度は約170人/km<sup>2</sup>の、過疎型二次医療圏である。南薩には、全身麻酔件数年間100件を超える国立病院機構指宿病院や県立薩南病院があるが、鹿児島への医療依存は強い。

人口当たりの総病床数の偏差値は82(一般病床55、療養病床80、精神病床90)、総医師数が51(病院勤務医数51、診療所医師50)、総看護師数75、全身麻酔数40と、病床数(特に療養病床と精神病床)と看護師数は非常に多いが、医師数は全国平均、全身麻酔数が少ない。

2010→40年の医療の総需要が26%減、0-64歳が45%減と、急性期医療の需要は大きく減少する。一方75歳以上の医療需要の伸びは小さい。一般病床の削減や地域内の集約化とネットワークの強化を進め、鹿児島との連携の強化を図り、地域の機能を維持することを目指すべきであろう。

### (川薩)

川薩(薩摩川内)は、人口約12万人、面積987/km<sup>2</sup>、人口密度は約130人/km<sup>2</sup>の、過疎型二次医療圏である。川薩には、全身麻酔件数年間500件を超える済生会川内病院、年間250件以上の川内市医師会立市民病院があるが、高度医療は鹿児島に依存している。

人口当たりの総病床数の偏差値は59(一般病床51、療養病床61、精神病床60)、総医師数が47(病院勤務医数46、診療所医師52)、総看護師数65、全身麻酔数46と、病床数と看護師数は多く、医師数と全身麻酔数は全国平均を少し下回るレベルであり、過疎地としては比較的充実した医療が提供されている。

2010→40年の医療の総需要が12%減、0-64歳が34%減と、急性期医療の需要は大きく減少する。一方75歳以上の医療需要の伸びは小さい。一般病床の削減や地域内の集約化とネットワークの強化を進め、鹿児島との強化を図り、地域の機能を維持することを目指すべきであろう。

### (出水)

鹿児島県西北部に位置し、熊本県と県境を接する出水は、人口約9万人、面積581/km<sup>2</sup>、人口密度は約150人/km<sup>2</sup>の、過疎型二次医療圏である。出水には、全身麻酔件数年間500件を超える阿久根市民病院、年間250件以上の出水総合医療センターがあるが、鹿児島や熊本県芦北への医療依存は強い。

人口当たりの総病床数の偏差値は 58（一般病床 46、療養病床 57、精神病床 67）、総医師数が 39（病院勤務医数 40、診療所医師 41）、総看護師数 57、全身麻酔数 42 と、病床数（特に療養と精神）と看護師数は多いが、医師数と全身麻酔数が少ない。

2010→40 年の医療の総需要が 18%減、0-64 歳が 41%減、急性期医療の需要は大きく減少する。一方 75 歳以上の医療需要は、3%増である。地域内の集約化とネットワーク化の強化を進め、鹿児島からの支援と連携の強化を図り、地域の機能を維持することを目指すべきであろう。

#### （始良・伊佐）

始良・伊佐（霧島）は、人口約 24 万人、面積 1,372/km<sup>2</sup>、人口密度は約 180 人/km<sup>2</sup>の、地方都市型二次医療圏である。始良・伊佐には、全身麻酔件数年間 500 件を超える霧島市立医師会医療センターがあるが、高度医療は、鹿児島に依存している。

人口当たりの総病床数の偏差値は 71（一般病床 54、療養病床 73、精神病床 71）、総医師数が 45（病院勤務医数 44、診療所医師 47）、総看護師数 67、全身麻酔数 39 と、病床数と看護師数は非常に多いが、医師数と全身麻酔数が少ない。

2010→40 年の医療の総需要が 1%減、0-64 歳が 30%減、急性期医療の需要は大きく減少する。一方 75 歳以上の医療需要は 29%増である。75 歳以上の高齢者増を視野に入れ、一般病床の一部を更に療養、亜急性期、回復期への転換しつつ、地域内の集約化とネットワーク化の強化を進め、鹿児島からの支援と連携の強化を図り、地域の機能を維持することを目指すべきであろう。

#### （曾於）

曾於は、人口約 9 万人、面積 781/km<sup>2</sup>、人口密度は約 110 人/km<sup>2</sup>の、過疎型二次医療圏である。曾於には、曾於郡医師会立病院などがあるが、肝属（鹿屋）への医療依存が高く、高度医療は、鹿児島に依存している。

人口当たりの総病床数の偏差値は 52（一般病床 37、療養病床 70、精神病床 49）、総医師数 36（病院勤務医数 36、診療所医師 41）、総看護師数 48、全身麻酔数 36 と、九州において最も医療資源レベルの低い地域の一つである。また、医療提供において診療所の比率の高い地域である。

2010→40 年の医療の総需要が 25%減、0-64 歳が 45%減より、病床削減や地域内の集約化とネットワークの強化を進め、鹿児島からの支援とドクターヘリを含めた連携の強化を図り、地域の機能を維持することを目指すべきであろう。

#### （肝属）

大隅半島の大半を占める肝属（鹿屋）は、人口約 16 万人、面積 1,323/km<sup>2</sup>、人口密度は約 120 人/km<sup>2</sup>の、過疎型二次医療圏である。肝属には、全身麻酔件数年間 250 件を超える大隅鹿屋病院、県民健康プラザ鹿屋医療センター、小倉記念病院があり、鹿屋近郊は比較的医療は充実しているが、鹿屋以南は医療過疎である。また高度医療は、鹿児島に依存している。

人口当たりの総病床数の偏差値は 65（一般病床 70、療養病床 56、精神病床 58）、総医師数が 46（病院勤務医数 46、診療所医師 46）、総看護師数 67、全身麻酔数 43 と、病床数と看護師数は非常に多いが、病院勤務医数と全身麻酔数がやや少ない。

2010→40 年の医療の総需要が 14%減、0-64 歳が 35%減と、急性期医療の需要は大きく減少する。一方 75 歳以上の医療需要の伸びは小さい。一般病床の削減や地域内の集約化とネットワークの強化を進め、鹿児島からの支援とドクターヘリを含めた連携の強化を図り、地域の機能を維持することを目指すべきであろう。

#### （熊毛）

屋久島、種子島を中心とする熊毛は、は、人口約 5 万人、面積 995/km<sup>2</sup>、人口密度は約 50 人/km<sup>2</sup>の、過疎型二次医療圏である。熊毛には、全身麻酔件数年間 100 件を超える田上病院（種子島）、屋久島徳洲会病院があるが、高度医療は鹿児島に依存している。

人口当たりの総病床数の偏差値は 52（一般病床 61、療養病床なし、精神病床 55）、総医師数が 38（病院勤務医数 42、診療所医師 31）、総看護師数 53、全身麻酔数 42 と、一般病床数と看護師数は多いが、病院勤務医数と全身麻酔数が少ない。

2010→40 年の医療の総需要が 19%減、0-64 歳が 42%減、75 歳以上が 6%増を考えると、一般病床の一部を更に療養、亜急性期、回復期への転換しつつ、高齢者用の施設や住宅を状況に応じ整備し、鹿児島からの支援強化やとドクターヘリを含む連携の強化を図り、地域の機能を維持することを目指すべきであろう。

#### （奄美）

奄美は、は、人口約 12 万人、面積 1,240/km<sup>2</sup>、人口密度は約 100 人/km<sup>2</sup>の、過疎型二次医療圏である。奄美には、全身麻酔件数年間 500 件を超える県立大島病院がある。

人口当たりの総病床数の偏差値は 68（一般病床 60、療養病床 62、精神病床 68）、総医師数が 46（病院勤務医数 47、診療所医師 44）、総看護師数 66、全身麻酔数 44 と、病床数と看護師数は非常に多いが、病院勤務医数と全身麻酔数がやや少ないが、離島としては充実した医療が提供されている。

2010→40 年の医療の総需要が 14%減、0-64 歳が 44%減、75 歳以上が 12%増を考えると、一般病床の一部を更に療養、亜急性期、回復期への転換しつつ、高齢者用の施設や住宅を状況に応じ整備し、鹿児島からの支援強化やとドクターヘリを含む連携の強化を図り、地域の機能を維持することを目指すべきであろう。

表 46-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口密度	地域タイプ	高齢 化率	2010→40年 総人口 増減率	2010→40年 75歳以上 人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-16%	58%
鹿児島県	1,706,242	24位	9,189	10位	185.7		26%	-23%	25%
鹿児島	688,887	40%	1,045	11%	659.3	地方都市型	22%	-16%	61%
南薩	145,803	9%	865	9%	168.5	過疎型	33%	-37%	-9%
川薩	123,698	7%	987	11%	125.3	過疎型	29%	-25%	6%
出水	89,880	5%	581	6%	154.8	過疎型	30%	-32%	3%
始良・伊佐	243,195	14%	1,372	15%	177.3	地方都市型	26%	-18%	29%
曾於	86,470	5%	781	9%	110.7	過疎型	33%	-37%	-3%
肝属	164,082	10%	1,323	14%	124.0	過疎型	29%	-26%	6%
熊毛	45,454	3%	995	11%	45.7	過疎型	31%	-32%	6%
奄美	118,773	7%	1,240	13%	95.8	過疎型	29%	-31%	12%
出典	<2010年人口>平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年 <2040年人口>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

表 46-2 病院数、診療所施設数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 施設数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,605		6.7	(4.0)	99,547		78	(19.4)
鹿児島県	265	3.1%	15.5	72	1,409	1.4%	83	52
鹿児島	115	43%	16.7	75	599	43%	87	55
南薩	33	12%	22.6	90	119	8%	82	52
川薩	19	7%	15.4	72	129	9%	104	64
出水	8	3%	8.9	55	68	5%	76	49
始良・伊佐	34	13%	14.0	68	191	14%	79	50
曾於	10	4%	11.6	62	57	4%	66	44
肝属	25	9%	15.2	71	129	9%	79	50
熊毛	5	2%	11.0	61	22	2%	48	35
奄美	16	6%	13.5	67	95	7%	80	51
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 46-3 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,571,473		1,228	(474)	126,031		98	(106)
鹿児島県	34,508	2.2%	2,022	67	6,484	5.1%	380	76
鹿児島	14,226	41%	2,065	68	2,611	40%	379	76
南薩	4,023	12%	2,759	82	710	11%	487	87
川薩	2,061	6%	1,666	59	470	7%	380	76
出水	1,454	4%	1,618	58	338	5%	376	76
始良・伊佐	5,351	16%	2,200	71	955	15%	393	78
曾於	1,137	3%	1,315	52	167	3%	193	59
肝属	3,199	9%	1,950	65	671	10%	409	79
熊毛	601	2%	1,322	52	123	2%	271	66
奄美	2,456	7%	2,068	68	439	7%	370	76
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月			

表 46-4 診療所施設数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所 施設数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床診療 所施設数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床診療 所施設数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	99,547		78	(19.4)	89,613		70	(18.9)	9,934		7.76	(6.9)
鹿児島県	1,409	1.4%	83	52	1,006	1.1%	59	44	403	4.1%	23.6	73
鹿児島	599	43%	87	55	429	43%	62	46	170	42%	24.7	75
南薩	119	8%	82	52	78	8%	53	41	41	10%	28.1	80
川薩	129	9%	104	64	96	10%	78	54	33	8%	26.7	78
出水	68	5%	76	49	52	5%	58	44	16	4%	17.8	65
始良・伊佐	191	14%	79	50	131	13%	54	41	60	15%	24.7	75
曾於	57	4%	66	44	47	5%	54	42	10	2%	11.6	56
肝属	129	9%	79	50	88	9%	54	41	41	10%	25.0	75
熊毛	22	2%	48	35	15	1%	33	30	7	2%	15.4	61
奄美	95	7%	80	51	70	7%	59	44	25	6%	21.0	69
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 46-5 一般病床数、療養病床数、精神病床数

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	896,277		700	(226)	324,828		254	(196)	339,459		265	(206)
鹿児島県	15,179	1.7%	890	58	9,211	2.8%	540	65	9,904	2.9%	580	65
鹿児島	6,885	45%	999	63	3,602	39%	523	64	3,640	37%	528	63
南薩	1,194	8%	819	55	1,220	13%	837	80	1,585	16%	1,087	90
川薩	889	6%	719	51	587	6%	475	61	581	6%	470	60
出水	552	4%	614	46	353	4%	393	57	545	6%	606	67
始良・伊佐	1,896	12%	780	54	1,696	18%	697	73	1,701	17%	699	71
曾於	357	2%	413	37	558	6%	645	70	220	2%	254	49
肝属	1,878	12%	1,145	70	618	7%	377	56	699	7%	426	58
熊毛	431	3%	948	61	0	0%	0	37	166	2%	365	55
奄美	1,097	7%	924	60	577	6%	486	62	767	8%	646	68
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月			

表 46-6 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、全身麻酔件数

二次医療圏	救命救急 センター	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	がん診療 拠点病院	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	204		1.59	(2.22)	377		2.95	(3.5)	2,577,228		2,013	(947)
鹿児島県	1	0.5%	0.6	45	8	2.1%	4.7	55	37,032	1.4%	2,170	52
鹿児島	1	100%	1.5	49	2	25%	2.9	50	25,008	68%	3,630	67
南薩	0	0%	0	43	1	13%	6.9	61	1,512	4%	1,037	40
川薩	0	0%	0	43	1	13%	8.1	65	1,968	5%	1,591	46
出水	0	0%	0	43	0	0%	0	42	1,140	3%	1,268	42
始良・伊佐	0	0%	0	43	1	13%	4.1	53	2,388	6%	982	39
曾於	0	0%	0	43	1	13%	11.6	74	624	2%	722	36
肝属	0	0%	0	43	1	13%	6.1	59	2,172	6%	1,324	43
熊毛	0	0%	0	43	0	0%	0	42	552	1%	1,214	42
奄美	0	0%	0	43	1	13%	8.4	65	1,668	5%	1,404	44
出典	平成24年10月 救急医学会				平成22年10月 独立行政法人国立がん 研究センターがん対策情報センター				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 46-7 医師数（総数、病院勤務医数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	321,268		251	(87)	199,499		156	(63)	121,769		95	(31)
鹿児島県	4,565	1.4%	268	52	3,003	1.5%	176	53	1,561	1.3%	92	49
鹿児島	2,471	54%	359	62	1,749	58%	254	66	722	46%	105	53
南薩	373	8%	256	51	233	8%	160	51	140	9%	96	50
川薩	282	6%	228	47	158	5%	128	46	124	8%	100	52
出水	142	3%	158	39	83	3%	92	40	59	4%	66	41
始良・伊佐	506	11%	208	45	294	10%	121	44	211	14%	87	47
曾於	115	3%	133	36	57	2%	66	36	58	4%	67	41
肝属	353	8%	215	46	216	7%	132	46	137	9%	84	46
熊毛	65	1%	144	38	49	2%	107	42	17	1%	37	31
奄美	257	6%	216	46	165	6%	139	47	92	6%	77	44
出典	病院勤務医数と診療所医師数の合計				平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 46-8 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,039,059		812	(270)	858,317		671	(227)	180,742		141	(71)
鹿児島県	22,680	2.2%	1,329	69	17,822	2.1%	1,045	66	4,858	2.7%	285	70
鹿児島	10,341	46%	1,501	76	8,110	46%	1,177	72	2,231	46%	324	76
南薩	2,168	10%	1,487	75	1,786	10%	1,225	74	383	8%	262	67
川薩	1,507	7%	1,218	65	1,079	6%	872	59	428	9%	346	79
出水	902	4%	1,004	57	659	4%	734	53	243	5%	270	68
始良・伊佐	3,116	14%	1,281	67	2,477	14%	1,019	65	639	13%	263	67
曾於	659	3%	762	48	464	3%	537	44	195	4%	225	62
肝属	2,099	9%	1,279	67	1,652	9%	1,007	65	447	9%	273	69
熊毛	402	2%	885	53	328	2%	722	52	74	2%	162	53
奄美	1,484	7%	1,250	66	1,265	7%	1,065	67	219	5%	184	56
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

ここでの「看護師」は「看護師」＋「准看護師」

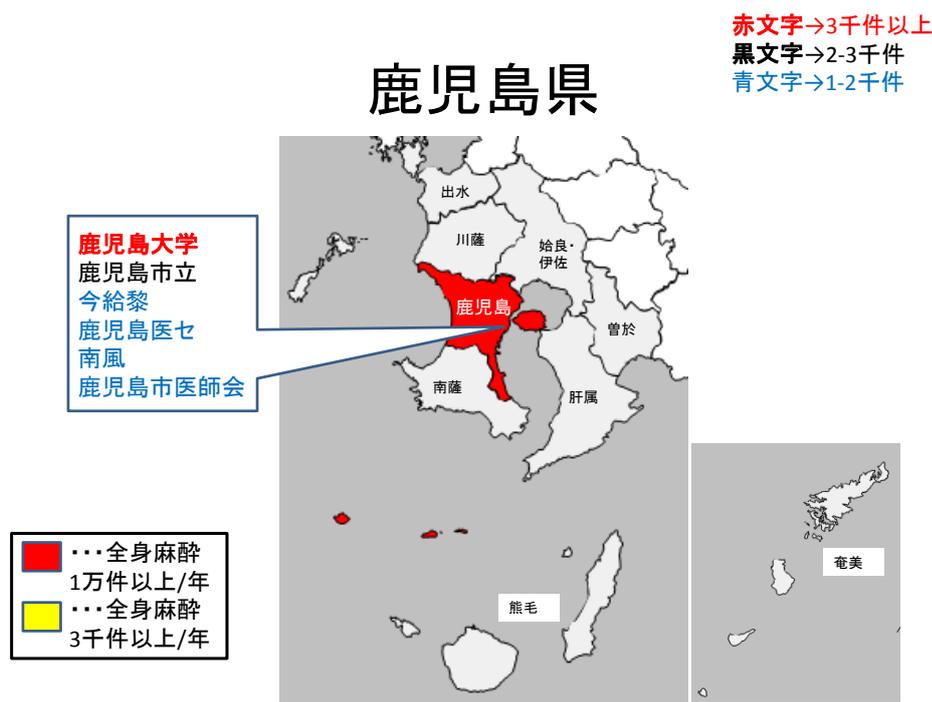
表 46-9 療法士数と回復期病床数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	95,471		74.6	(41)	63,959		49.9	(44)
鹿児島県	2,645	2.8%	155	70	1,905	3.0%	112	64
鹿児島	1,185	45%	172	74	855	45%	124	67
南薩	264	10%	181	76	206	11%	141	71
川薩	177	7%	143	67	137	7%	111	64
出水	96	4%	107	58	123	6%	137	70
始良・伊佐	429	16%	176	75	350	18%	144	71
曾於	57	2%	66	48	16	1%	19	43
肝属	288	11%	176	75	170	9%	104	62
熊毛	51	2%	112	59	48	3%	106	63
奄美	99	4%	83	52	0	0%	0	39
出典	平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成25年3月全国回復期リハ病床連絡協議会			

表 46-10 在宅医療施設（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,058		10.0	(5.4)	779		0.55	(0.6)	6,814		4.84	(1.5)
鹿児島県	282	2.0%	11.2	52	24	3.1%	1.0	56	131	1.9%	5.2	52
鹿児島	95	34%	12.0	54	9	38%	1.1	59	42	32%	5.3	53
南薩	22	8%	7.6	46	2	8%	0.7	52	18	14%	6.3	59
川薩	28	10%	13.4	56	1	4%	0.5	49	10	8%	4.8	50
出水	20	7%	13.0	56	1	4%	0.7	52	7	5%	4.6	48
始良・伊佐	50	18%	14.2	58	3	13%	0.9	55	16	12%	4.5	48
曾於	9	3%	5.6	42	0	0%	0	41	6	5%	3.7	43
肝属	27	10%	9.7	49	2	8%	0.7	53	16	12%	5.7	56
熊毛	4	1%	5.1	41	1	4%	1.3	62	3	2%	3.9	44
奄美	27	10%	12.9	55	5	21%	2.4	79	13	10%	6.2	59
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成24年12月			

図 46-1 医療圏別基幹病院別全身麻酔手術数



(平成 23 年医療施設調査(10 月 1 か月分)の数値に 12 を掛けたもの)

表 46-11 総高齢者ベッド数、介護保険施設ベッド数、総高齢者住宅数

二次医療圏	総高齢者 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	総高齢者 住宅数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,696,557		121	(23.2)	936,747		67	(12.5)	759,810		54	(20.5)
鹿児島県	31,847	1.9%	126	52	17,138	1.8%	68	51	14,709	1.9%	58	52
鹿児島	10,770	34%	136	57	5,138	30%	65	49	5,632	38%	71	58
南薩	3,032	10%	105	43	1,863	11%	65	49	1,169	8%	41	43
川薩	2,667	8%	127	53	1,703	10%	81	62	964	7%	46	46
出水	1,811	6%	118	49	965	6%	63	47	846	6%	55	51
始良・伊佐	4,769	15%	135	56	2,298	13%	65	49	2,471	17%	70	58
曾於	1,983	6%	123	51	1,235	7%	77	58	748	5%	46	46
肝属	3,537	11%	127	53	1,704	10%	61	46	1,833	12%	66	56
熊毛	708	2%	91	37	528	3%	68	51	180	1%	23	35
奄美	2,570	8%	123	51	1,704	10%	81	62	866	6%	41	44
出典	田村プランニング(平成25年1月データ) 介護保険施設ベッド数と総高齢者住宅数の合計				平成22年8月独立行政法人福祉医療機構 老人保健施設(老健)収容数、特別養護老人ホーム(特養)収容数及び田村プランニング(平成25年1月データ) 介護療養病床数の合計				田村プランニング(平成25年1月データ) 有料老人ホーム、グループホーム、高齢者住宅、その他の合計			

表 46-12 老人保健施設（老健）収容数、特別養護老人ホーム（特養）収容数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)収容数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 収容数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	350,538		25	(5.8)	501,495		36	(10.0)	84,714		6.0	(5.3)
鹿児島県	6,104	1.7%	24	49	9,583	1.9%	38	52	1,451	1.7%	5.8	49
鹿児島	1,873	31%	24	48	2,632	27%	33	48	633	44%	8.0	54
南薩	681	11%	24	48	1,096	11%	38	52	86	6%	3.0	44
川薩	531	9%	25	51	1,058	11%	50	65	114	8%	5.4	49
出水	379	6%	25	50	509	5%	33	47	77	5%	5.0	48
始良・伊佐	828	14%	24	48	1,189	12%	34	48	281	19%	8.0	54
曾於	470	8%	29	57	641	7%	40	54	124	9%	7.7	53
肝属	649	11%	23	47	1,005	10%	36	50	50	3%	1.8	42
熊毛	99	2%	13	29	429	4%	55	70	0	0%	0	39
奄美	594	10%	28	56	1,024	11%	49	63	86	6%	4.1	46
出典	平成22年8月独立行政法人福祉医療機構				平成22年8月独立行政法人福祉医療機構				田村プランニング(平成25年1月データ)			

表 46-13 有料老人ホーム、グループホーム、高齢者住宅

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	313,116		22.3	(16.7)	171,021		12.2	(5.9)	88,421		6.3	(4.0)
鹿児島県	4,300	1.4%	17.1	47	5,137	3.0%	20.4	64	1,154	1.3%	4.6	46
鹿児島	1,728	40%	21.8	50	2,134	42%	27.0	75	535	46%	6.8	51
南薩	198	5%	6.9	41	413	8%	14.4	54	103	9%	3.6	43
川薩	124	3%	5.9	40	306	6%	14.6	54	109	9%	5.2	47
出水	181	4%	11.8	44	250	5%	16.3	57	85	7%	5.5	48
始良・伊佐	901	21%	25.6	52	672	13%	19.1	62	238	21%	6.8	51
曾於	259	6%	16.1	46	279	5%	17.3	59	0	0%	0	34
肝属	640	15%	23.0	50	735	14%	26.4	74	84	7%	3.0	42
熊毛	40	1%	5.1	40	90	2%	11.6	49	0	0%	0	34
奄美	229	5%	10.9	43	258	5%	12.3	50	0	0%	0	34
出典	田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)			

表 46-14 ～64歳人口、75歳以上人口の推計

二次医療圏	～64歳人口			2010年を100とした～64歳人口			75歳以上人口			2010年を100とした75歳以上人口		
	2020	2030	2040	2020	2030	2040	2020	2030	2040	2020	2030	2040
全国	88,023,301	79,833,026	69,345,059	89	81	70	18,778,797	22,774,034	22,232,154	133	162	158
鹿児島県	1,073,622	937,858	820,845	85	75	65	270,967	316,807	314,175	107	126	125
鹿児島島	472,702	423,704	371,811	88	79	69	96,878	124,165	127,236	122	157	161
南薩	76,317	62,628	53,368	79	64	55	27,353	28,963	26,198	95	101	91
川薩	75,309	65,777	58,056	85	75	66	20,577	22,922	22,333	98	109	106
出水	51,416	43,235	36,872	82	69	59	15,511	16,808	15,841	101	109	103
始良・伊佐	159,243	142,615	127,250	88	79	70	37,826	44,951	45,518	107	128	129
曾於	45,982	37,297	31,799	79	64	55	16,079	16,858	15,668	100	105	97
肝属	98,550	85,262	75,806	85	73	65	28,105	30,298	29,582	101	109	106
熊毛	25,699	21,395	18,343	82	68	58	8,034	8,693	8,214	103	112	106
奄美	68,404	55,945	47,540	81	66	56	20,604	23,149	23,585	98	110	112
出典	平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月											

表 46-15 2010年→40年の医療・介護の需要予測

二次医療圏	地域タイプ	2010→40			総介護需要増減率
		総医療需要増減率	64歳以下医療需要増減率	75歳以上医療需要増減率	
全国		10%	-30%	58%	50%
鹿児島県		-5%	-35%	25%	21%
鹿児島島	地方都市型	12%	-31%	61%	54%
南薩	過疎型	-26%	-45%	-9%	-12%
川薩	過疎型	-12%	-34%	6%	4%
出水	過疎型	-18%	-41%	3%	0%
始良・伊佐	地方都市型	1%	-30%	29%	26%
曾於	過疎型	-25%	-45%	-3%	-6%
肝属	過疎型	-14%	-35%	6%	3%
熊毛	過疎型	-19%	-42%	6%	2%
奄美	過疎型	-14%	-44%	12%	9%
出典	平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 平成23年度 介護給付費実態調査報告 厚生労働省 平成22年度 国民医療費 厚生労働省				

※ここでの医療需要と介護需要の予測は費用ベースに年齢層別の人口増加を加味したものであり、人々の医療受療率、介護サービス受給率が2010年時点と変わらないことを前提に算出している。

図 46-2 鹿児島県 2010 年→40 年医療介護需要の増減予測

